

令和二年度 香川大学 国語

〔1〕

問一	㊦ 念頭	㊧ 併存(並存)	㊨ 原義	㊩ 妥当	㊪ 斬新
問二	<p>ジャズは、発祥からそのスタイルを目まぐるしく変えていったが、その背景には、アメリカ植民地時代からの白人と黒人の混血の過程で成立していったクレオール文化があったから。</p>				
問三	<p>近代化の過程で西洋絵画の影響を大きく受けた日本絵画は、近世以前の伝統的な日本画に西洋のスタイルを組み込むという方向と、西洋画のスタイルを日本風にアレンジして日本絵画へ取り込むという方向を、それぞれ日本画・洋画という形で成立させたから。</p>				
問四	<p>近世以前の流れをくむ日本画にせよ、西洋画のスタイルを多く取り入れた洋画にせよ、西洋社会にとっては、所詮は西洋と日本のスタイルの異種混交であり、芸術としての独自性を評価するべくもなく、意味を持たないから。</p>				

〔2〕

問一	㊶ さが(し)	㊷ のぞ(い)	㊸ ぐあい	㊹ きよりゆうち	㊺ とつぴようし
問二	<p>人を夢見心地にさせる坂道の中腹にあり、人の気配が絶えた西洋人の空家と荒れ果てた庭が、自分等のための恰好の「あいびき」の場として眼前に現れたようだから。</p>				
問三	<p>夢の中で見ているような空家で、誰にも見られずに二人だけの時間を過ごそうという考え。</p>				
問四	<p>二人のあいびきに最適な空家を見つけたが、二人きりの状況に緊張しているところに、赤面させるような落書を見つけたために二人の仲を進めていく勇気も持てず、絶好の場を去ってしまったことに情けなさを感じずにはいらなかったから。</p>				
問五	<p>うってつけのあいびきの場と思われた空家では、少年が煮え切らず、仲を深める一步を踏み出す勇気もなかったのに、帰途ではあいびきを夢想していたと思われる大胆なことを口にしたので、少年より少し早熟な少女は多少の物足りなさを感じたから。</p>				

(3)

問五	問四	問三	問二		問一	
			㉑	㉒	㉓	㉔
伊勢物語	竹取物語	二人の男性に愛され、板挟みの苦しみから、もうこれまでと入水の決心をしたとき	浮舟が生きていたと、誰かに知られ申し上げるようになったら恥ずかしく、どんな姿でさまよっていたのだろうかと思苦しい有様が想像されるに違いないから。	浮舟が籠っている所に住むのも年老いた七、八人の尼たちであって、一部の関係者以外都との行き来はほとんどなく、浮舟の側に仕える召使も顔立ちや人柄が都人に似たところはないから。	㉓	㉔
					知られまい	ぼんやりと物思いにふけって

(4)

問五	問四	問三	問二	問一	
				㉕	㉖
我が身に降りかかる死という災いを宰相や民や穀物の実りに転嫁できるにもかかわらず、景公は宋の国や民のことを考え、自らがその災いを受けるとした。天は高いところにおられ、下界の声を聞いているので、景公の三度の仁人としての発言を聞いた天が、景公を三回賞し、災いをもたらす火星の留まる場所を他へ三度移すと考えた。	しまったいふことなかれ。	我が身に降りかかる災いを民に転嫁することで宋の民を殺し、自らが生き延びることを望んだとしたならば、誰が私のことを君主だと思うだろうか、いや思ってはくれまい。	景公	㉕	㉖
				むしろ	のみ